

直轄高知海岸新居工区周辺の海岸利用

① 浜辺の駅 南風の郷

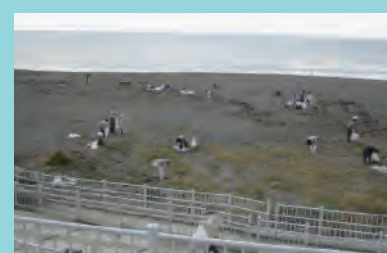
平成 17 年にオープンした JA とさし新居支所の地元名産品直売所。地元特産品のスイカ・メロン・カサブランカなどの農産物が並びます。スイカ・メロンの格安販売や「メロンスイカ食べ祭」なども行っています。



メロンスイカ食べ祭

② 高知海岸パートナーシップ清掃

「高知海岸パートナーシップ」とは、高知海岸南国工区(南国市十市地区)から新居工区(土佐市新居地区)にかけて直轄海岸工事施工区域内において、清掃ボランティア活動により海岸の散乱ゴミなどを取り除き、美しい海岸環境を創る新しい取り組みです。参加者には、担当区間の海岸の清掃・美化活動を定期的(年間3回以上)に行っていただいています。



③ アカウミガメ採卵見学会

高知海岸には、レッドデータブックの絶滅危惧種に指定されたアカウミガメが産卵に数多く訪れています。

新居工区においてもアカウミガメの上陸産卵が確認されており、地域のみなさんに集まっていたり、採卵保護の見学会を開いて、高知海岸の自然環境について、知っていただける機会を積極的に作っています。



④ マリンスポーツ・レジャー

新居工区では、サーフィンや釣りといったマリンスポーツ・レジャー利用が活発です。



直轄高知海岸
新居工区周辺

直轄高知海岸 新居工区堤防耐震・液状化対策事業

国土交通省 四国地方整備局 高知河川国道事務所



国土交通省 四国地方整備局 高知河川国道事務所

〒780-8023 高知県高知市六泉寺町 96 番地 7

TEL 088-833-0111(代)

URL <http://www.skr.mlit.go.jp/kochi/>

平成 25 年 11 月

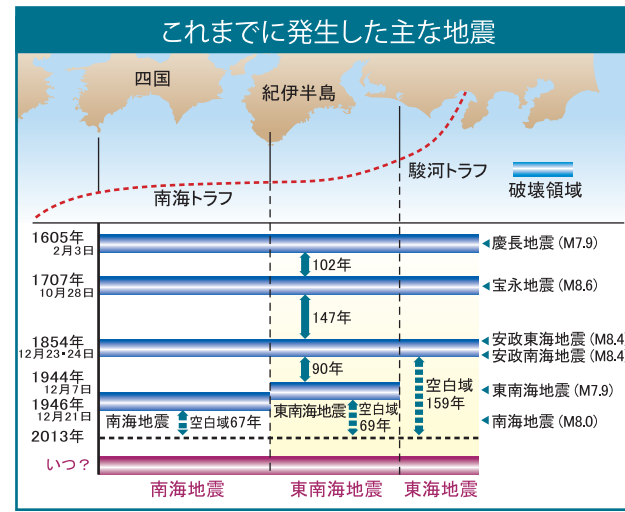
南海トラフを震源とした地震

南海トラフを震源とする地震は、今後30年以内の発生率が60～70%と予想されています。

極端に言えば、明日、地震・津波が発生するかも知れません。

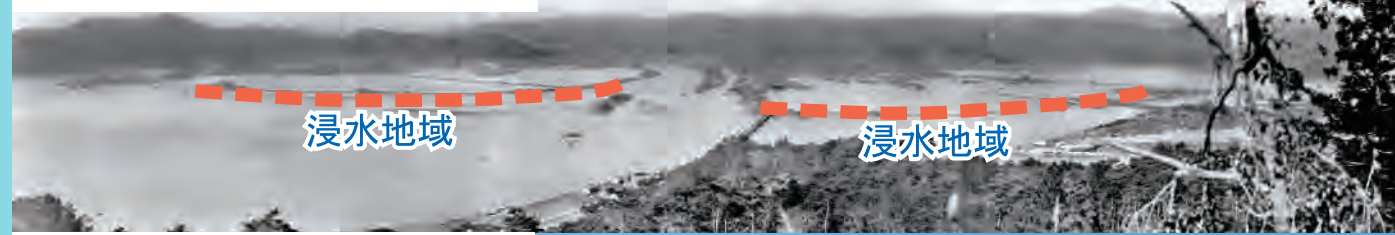
はっきり分かっていることは、「いつか」・「必ず」やって来るということです。

「南海トラフを震源とする地震・津波」に対して、最前線で防御する海岸堤防の対策を早急に行う必要があります。



出典：内閣府 南海トラフの巨大地震モデル検討会第1回資料（一部加工）

昭和南海地震直後の高知市



出典：高知市提供

海岸堤防が防御する津波レベル

東日本大震災による甚大な津波被害を受け、平成24年9月の「中央防災会議専門調査会」の報告では、新たな津波対策の考え方が示されました。

新たな津波対策の考え方では、東日本大震災を引き起こした津波のように、発生頻度は極めて低いものの発生すれば甚大な被害をもたらす津波を「最大クラスの津波」と位置づけ、これに対しては住民避難を軸に、ソフト・ハードのとりうる手段を尽くした総合的な津波防災対策を確立することにしています。

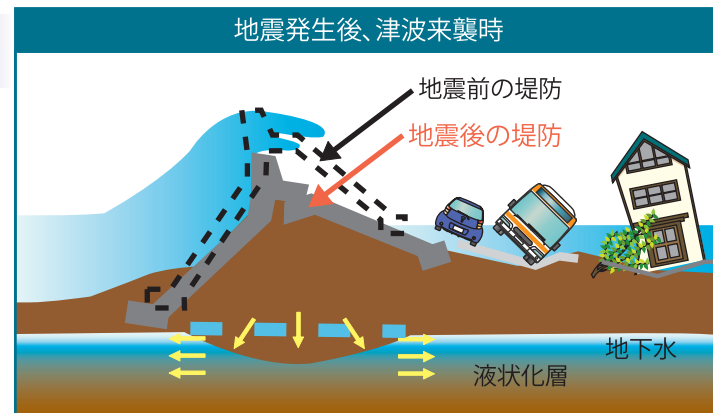
一方、海岸堤防等のハード整備は、引き続き「比較的発生頻度の高い津波」に対して整備していき、最大クラスの津波に対しては、海岸堤防を越えた場合でも、堤防の効果が粘り強く発揮出来るような整備を進め、住民避難に必要な時間確保等を目指しています。

	津波のレベル
比較的発生頻度の高い津波	最大クラスに比べ発生頻度は高く、津波高は低いものの大きな被害をもたらす津波（数十年～百数十年の頻度）
最大クラスの津波	発生頻度は極めて低いものの、発生すれば甚大な被害をもたらす津波

液状化による海岸堤防の沈下

高知海岸では地震に伴う液状化の発生により、海岸堤防が1m以上沈下し、堤防としての機能を果たさない恐れがあります。

そのため、地震後に襲来してくる津波が家屋等へ侵入し、甚大な被害が予想されています。



地震による液状化の発生により、堤防が沈下し崩れます。

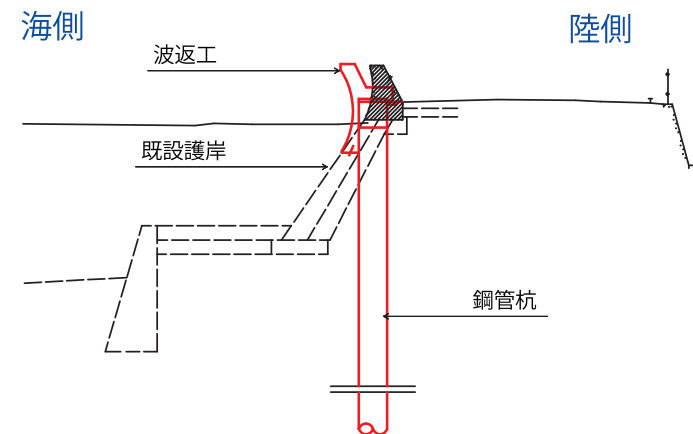
事業の概要

新居工区では、南海トラフを震源とする地震・津波に対し、堤防の耐震・液状化対策を行うことで、基礎地盤の液状化に伴う海岸堤防の沈下・変形を抑制し、津波の家屋等への浸水を防御します。



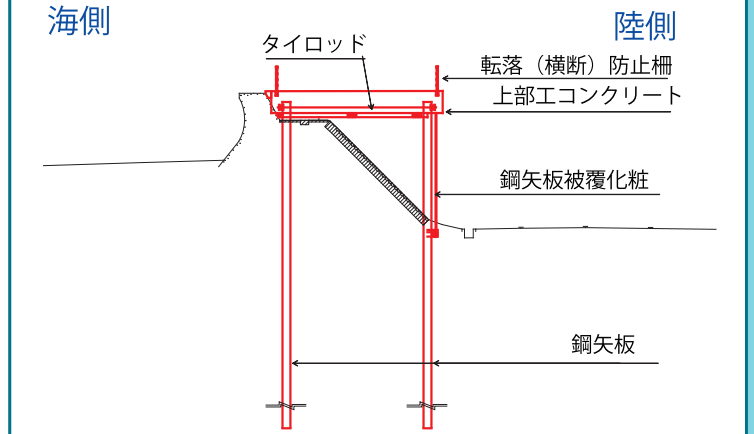
対策工法（鋼管杭工法）

鋼管杭の自立壁としての作用により、堤防の沈下・変形を抑制します。



対策工法（二重矢板工法）

二重矢板とタイロッドとの連結により、堤防の沈下・変形を抑制します。



施工イメージ

<鋼管杭施工状況（イメージ）>



<二重矢板施工状況（イメージ）>

